

平成26年1月9日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(平成25年10月～12月期実績、平成26年1月～3月期見通し)

《1》 調査時点 平成25年12月10日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
115企業 (回答率76.7%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	24	2	2	2	2	8	5	8	7	4	3	19
建設業	27	2	2	3	3	14	10	5	5	3	2	22
小売業	35	10	7	3	3	12	9	8	6	2	2	27
飲食業	20	6	5	2	1	5	3	6	5	1	1	15
宿泊業	23	8	5	6	5	9	6					16
サービス業	21	2	2	1	1	11	6	4	4	3	3	16
合計	150	30	23	17	15	59	39	31	27	13	11	115

《3》 調査項目

①売上高
⑤景況感

②仕入単価

⑥直面している経営上の問題

③採算性

④資金繰り

【平成25年10～12月期実績】

(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲12→) ▲9 (前期差3ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別売上高DIは、製造業、建設業、飲食業、サービス業が上昇し、小売業、宿泊業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期56→) 55 (前期差1ポイント減) となりプラス幅が縮小した。 業種別仕入単価DIは、製造業、建設業、飲食業が上昇し、小売業、宿泊業、サービス業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲35→) ▲30 (前期差5ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別採算性DIは、製造業、建設業、飲食業、サービス業が上昇し、小売業、宿泊業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲20→) ▲20 (前期差なし) となり横ばい。 業種別資金繰りDIは、小売業、飲食業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、宿泊業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲30→) ▲5 (前期差25ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別の景況感DIは、製造業、建設業、小売業、飲食業、サービス業が上昇し、宿泊業が低下した。

【平成26年1～3月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲12となり3ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別売上高DIは、製造業、宿泊業が上昇し、建設業、小売業、飲食業サービス業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、63となり8ポイントプラス幅が拡大する見通し。 業種別仕入単価DIは、建設業が横ばい、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲28となり2ポイントマイナス幅が縮小する見通し。 業種別採算性DIは、製造業、建設業、宿泊業が上昇し、小売業、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲18となり2ポイントマイナス幅が縮小する見通し。 業種別資金繰りDIは、製造業、建設業、宿泊業が上昇し、小売業が横ばい、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲11となり6ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別の景況感DIは、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下する見通し。

【平成25年10～12月期実績】

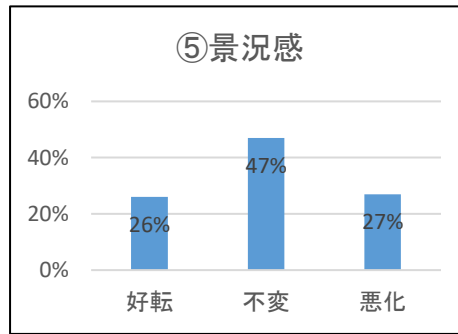
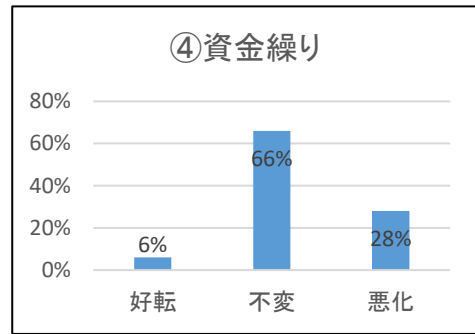
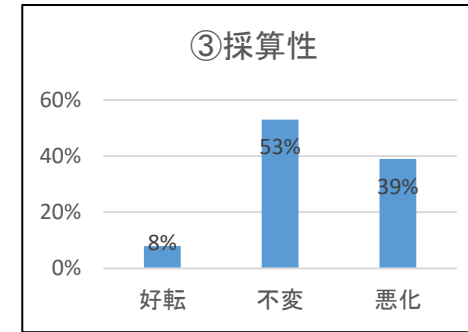
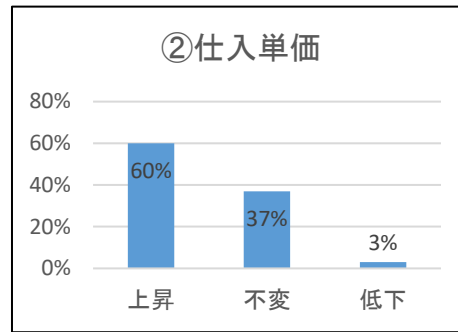
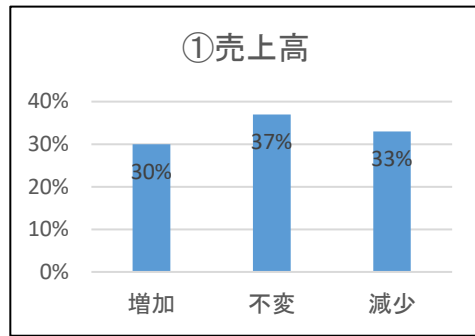
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲12→)▲9(前期差3ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。 業種別売上高DIは、製造業、建設業、飲食業、サービス業が上昇し、小売業、宿泊業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期56→)55(前期差1ポイント減)となりプラス幅が縮小した。 業種別仕入単価DIは、製造業、建設業、飲食業が上昇し、小売業、宿泊業、サービス業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲35→)▲30(前期差5ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。 業種別採算性DIは、製造業、建設業、飲食業、サービス業が上昇し、小売業、宿泊業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲20→)▲20(前期差なし)となり横ばい。 業種別資金繰りDIは、小売業、飲食業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、宿泊業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲30→)▲5(前期差25ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。 業種別の景況感DIは、製造業、建設業、小売業、飲食業、サービス業が上昇し、宿泊業が低下した。

【平成26年1～3月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲12となり3ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別売上高DIは、製造業、宿泊業が上昇し、建設業、小売業、飲食業サービス業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、63となり8ポイントプラス幅が拡大する見通し。 業種別仕入単価DIは、建設業が横ばい、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲28となり2ポイントマイナス幅が縮小する見通し。 業種別採算性DIは、製造業、建設業、宿泊業が上昇し、小売業、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲18となり2ポイントマイナス幅が縮小する見通し。 業種別資金繰りDIは、製造業、建設業、宿泊業が上昇し、小売業が横ばい、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲11となり6ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別の景況感DIは、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（平成24年10月～12月）と比べた今期（平成25年10月～12月）の状況

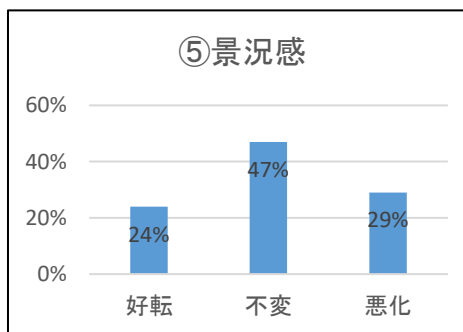
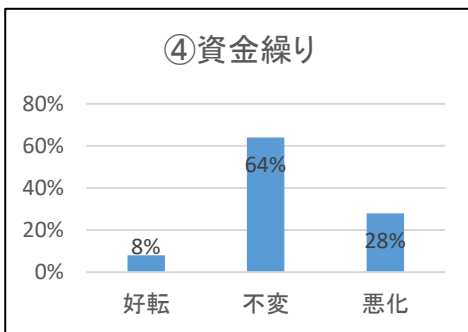
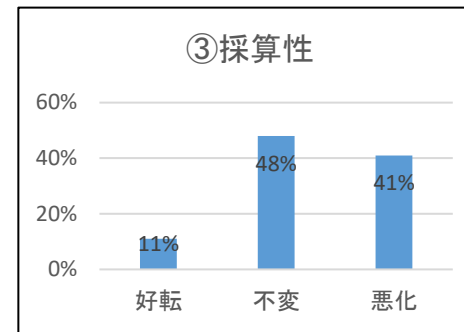
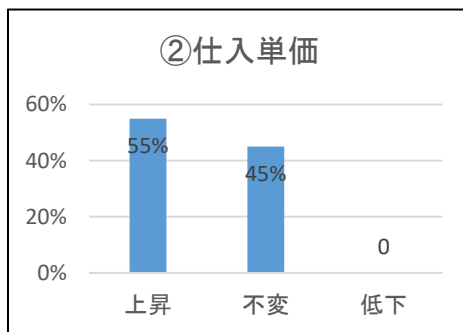
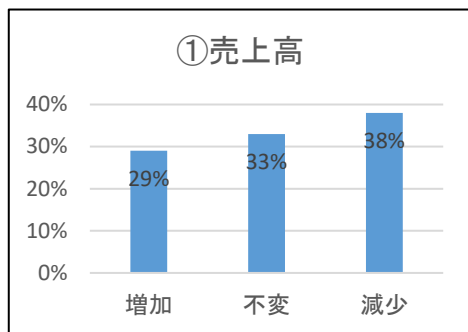


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲3	5	10	▲14	26	▲31	▲14
仕入単価	57	70	71	53	67	69	13
採算性	▲31	▲56	▲19	▲19	▲27	▲57	▲20
資金繰り	▲22	▲20	▲25	▲22	▲14	▲38	▲7
景況感	▲1	0	19	0	13	▲47	▲7

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比
前期（平成25年7月～9月）と比べた今期（平成25年10月～12月）の状況



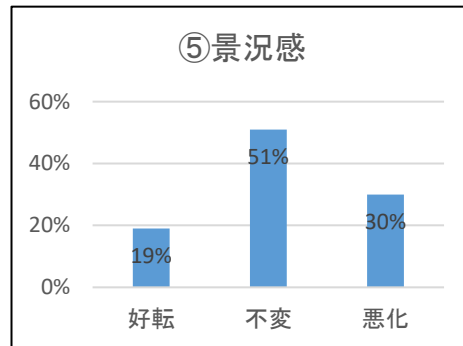
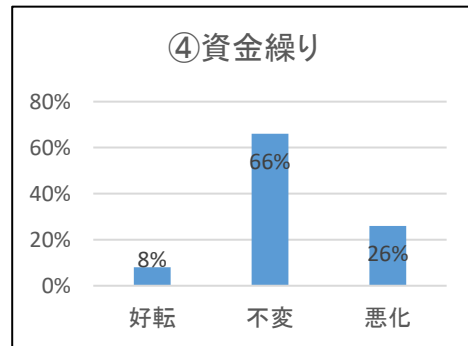
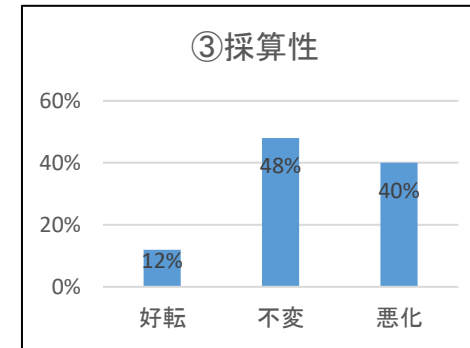
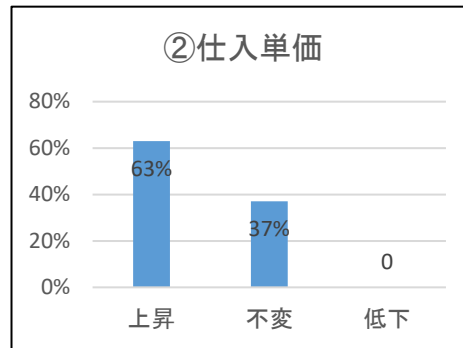
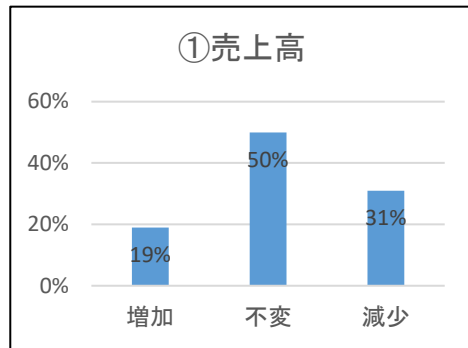
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲9	▲5	10	▲24	6	▲25	▲13
仕入単価	55	60	71	46	60	69	20
採算性	▲30	▲50	▲24	▲21	▲20	▲40	▲33
資金繰り	▲20	▲25	▲15	▲22	▲7	▲41	▲13
景況感	▲5	0	14	▲11	13	▲44	▲7

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（平成25年10月～12月）と比べた来期（平成26年1月～3月）の見通し



【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲12	10	▲29	▲26	0	▲6	▲15
仕入単価	63	70	71	54	67	80	40
採算性	▲28	▲36	▲18	▲26	▲22	▲33	▲41
資金繰り	▲18	▲10	▲9	▲22	▲20	▲32	▲20
景況感	▲11	▲5	▲25	0	▲7	▲25	▲14

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合

仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合

採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】直面している経営上の問題点について

【全業種】

直面している経営上の問題点	件数	比率 (%)
消費者（製品）ニーズ変化への対応	34	30
仕入単価（原材料）の上昇	49	43
販売・受注単価の低下	15	13
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	12	11
事業資金の借入難	4	3
合計	114	100

【業種別】

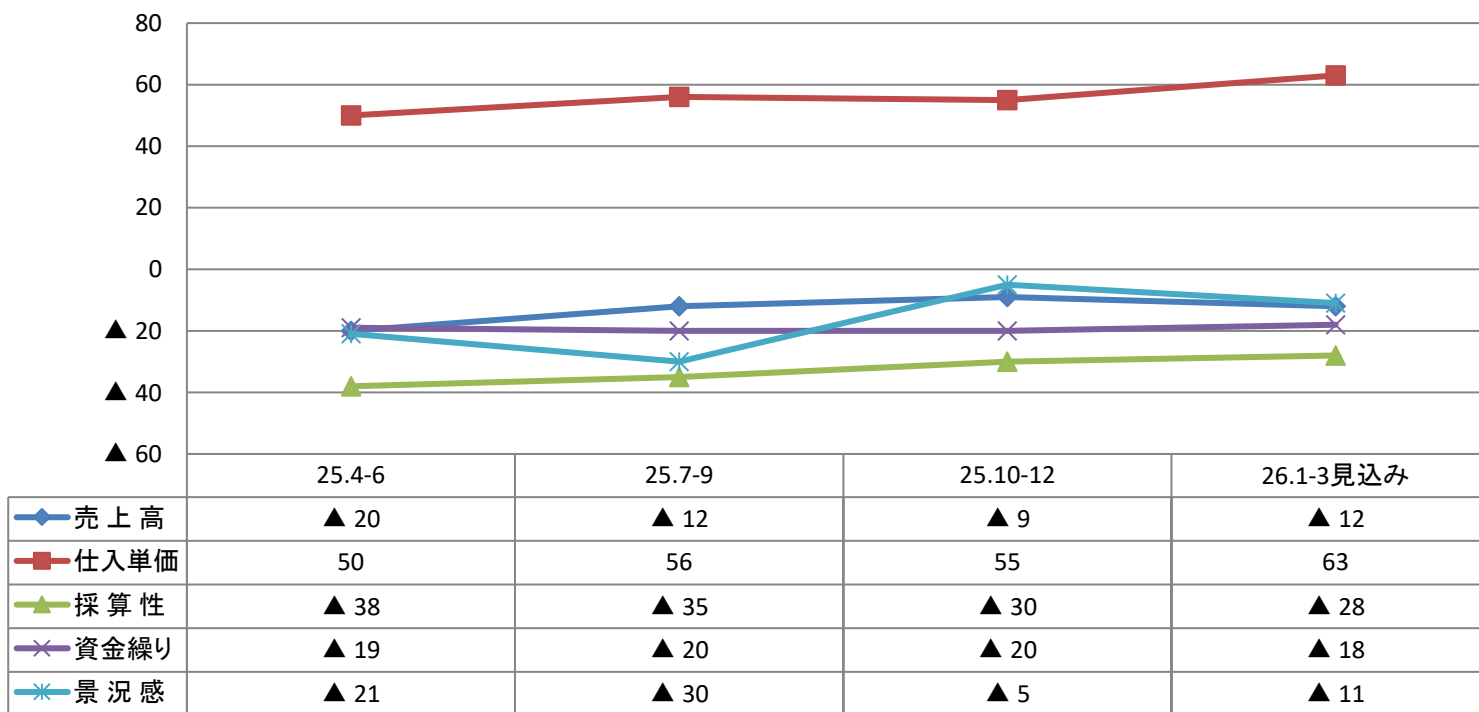
直面している経営上の問題点（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
消費者（製品）ニーズ変化への対応	2	1	11	5	6	9
仕入単価（原材料）の上昇	11	13	6	10	6	3
販売・受注単価の低下	5	6	2		1	1
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化			9		1	2
事業資金の借入難	1	1			2	
合計	19	21	28	15	16	15

【5】自由コメント

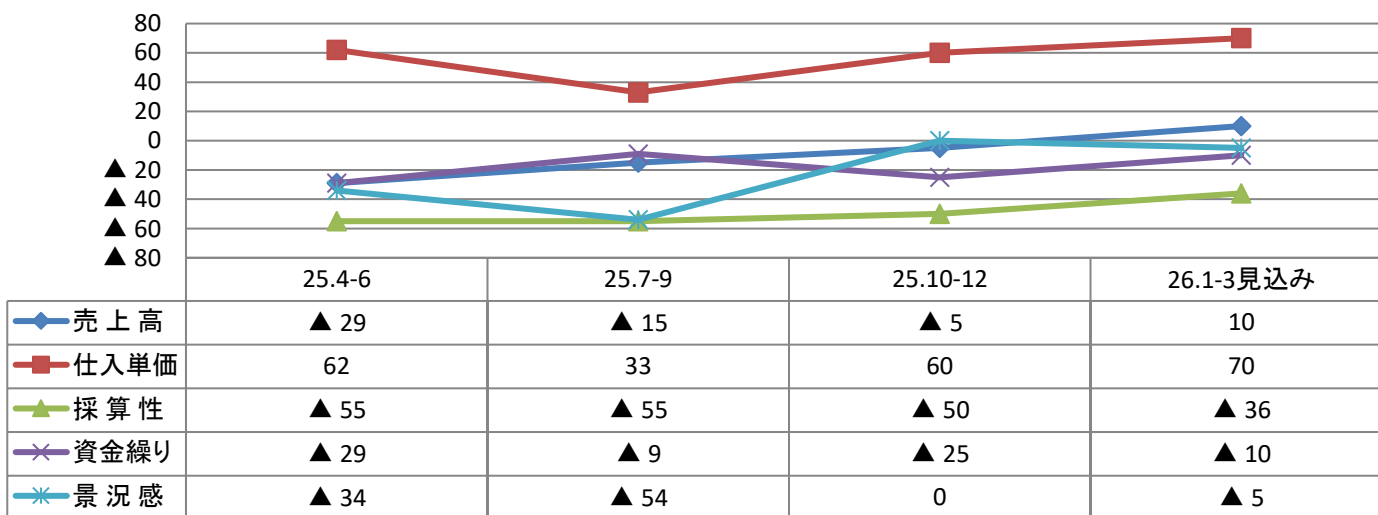
1	消費税も4月から上がりますが、それによって料金を上げるとなるとまたお客様離れが深刻になってきます。仕入価格は、当然8%の消費税がかかってきますし頭をかかえるばかりです。
2	来年4月から消費税が上がりますが、8%に慣れるまで旅館業は、泊りに来て頂けない気がします。価格破壊が益々エスカレートする様なことが起きないか心配です。仕入高も頭の痛いことです。どうか良き指導をよろしくお願いします。
3	消費税アップによる購買の減少に対して、来年度の売上の減少の不安があります。
4	消費者のニーズに応えるメニューを考えていきたい。売上アップにつなげていきたい。
5	アベノミクスなど言われてもう1年近くになりますが、そう大きく変動がない状況。変わらないのが逆に大きな反動もなくいいのかも知れません。景況感の好転については期待を込めての回答です。
6	今は出荷が増えているが消費税増税前の前倒し受注である可能性がある。4月後には下げに入ると思うがその影響がどの位なのか、顧客も予測できていない。関東や東北、北九州、中部地方の景況感はやいが、関西においてはあまりよくない。原材料価格が上昇するなかで販売価格が落ちる可能性がある。
7	竹田城効果が売上増に大いに貢献している。その他豊岡市のメディア露出増。仕入単価高騰も商品値上げできていない。

平成25年4月～平成26年3月(見込み)までの豊岡市商工会管内景気動向調査結果

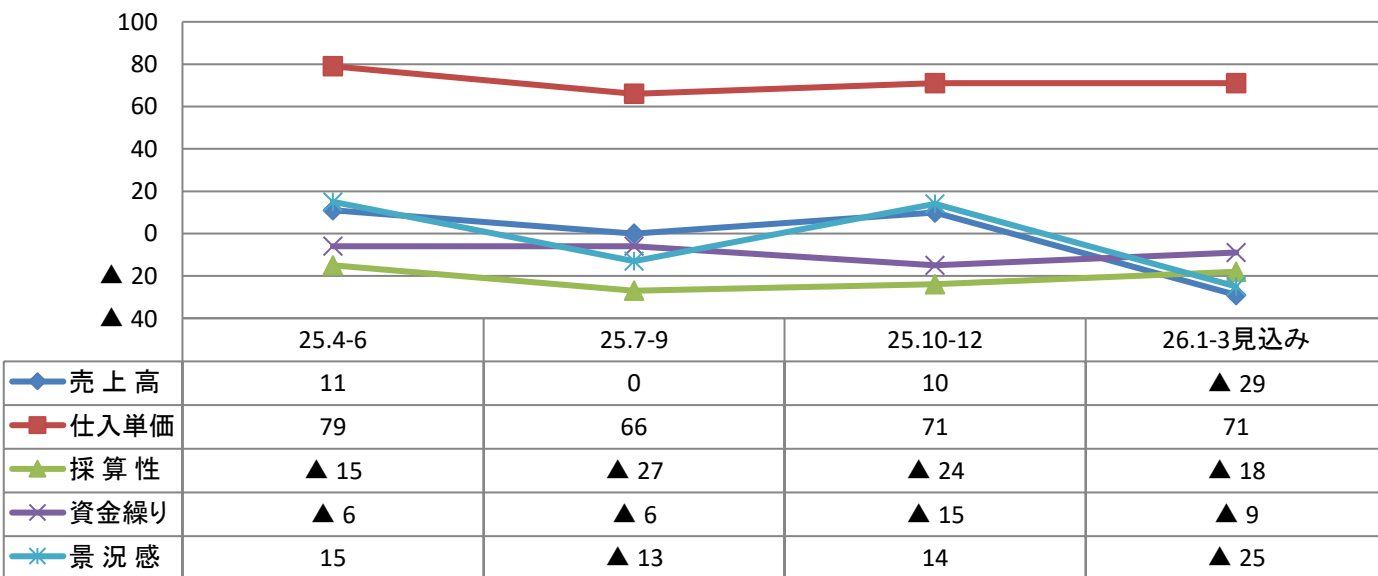
全業種DI推移



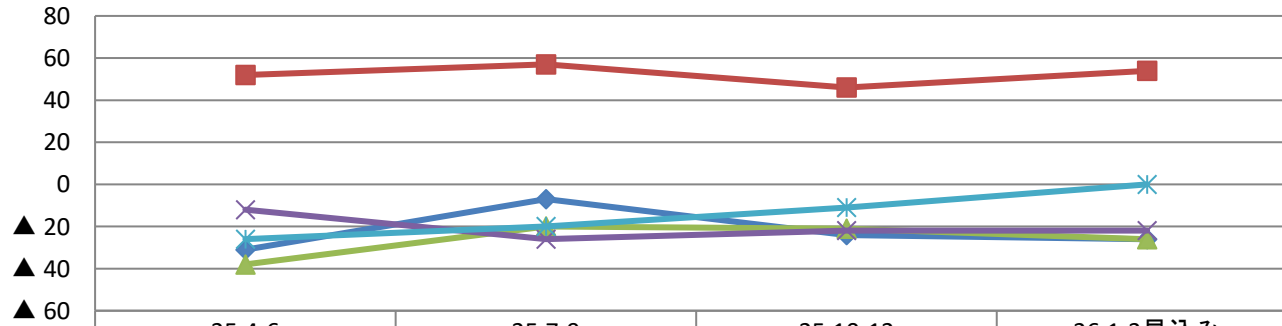
製造業DI推移



建設業DI推移

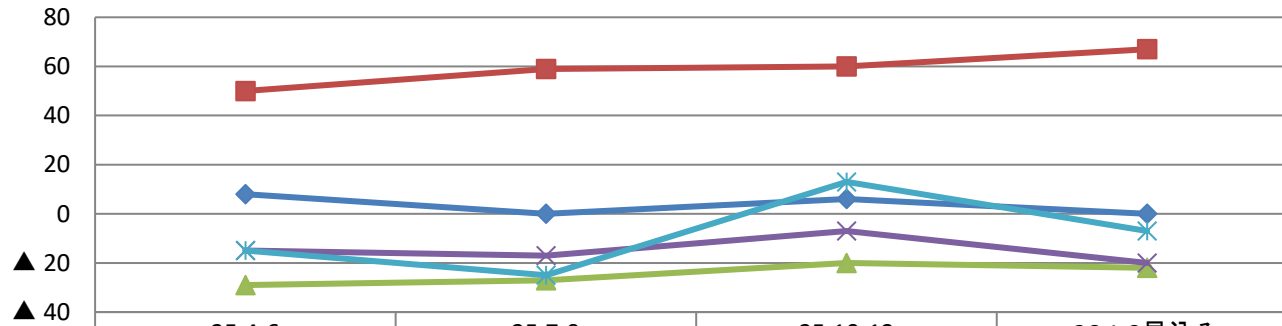


小売業DI推移



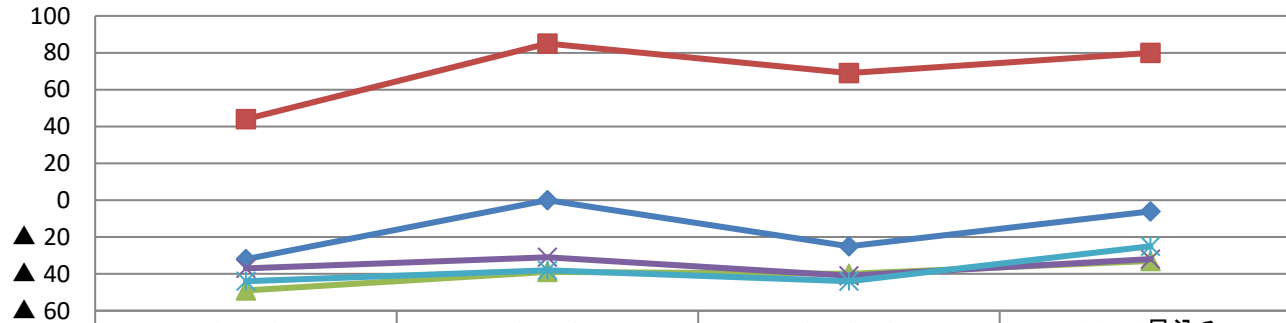
	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3見込み
● 売上高	▲ 31	▲ 7	▲ 24	▲ 26
■ 仕入単価	52	57	46	54
▲ 採算性	▲ 38	▲ 20	▲ 21	▲ 26
× 資金繰り	▲ 12	▲ 26	▲ 22	▲ 22
* 景況感	▲ 26	▲ 20	▲ 11	0

飲食業DI推移



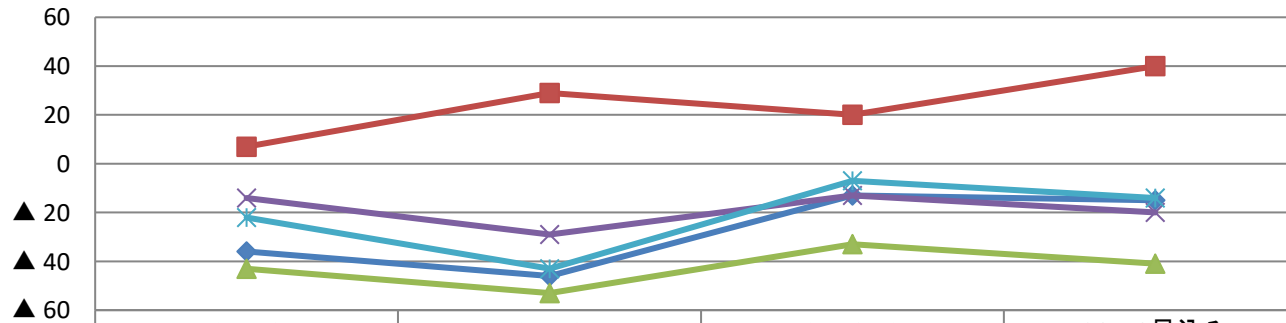
	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3見込み
● 売上高	8	0	6	0
■ 仕入単価	50	59	60	67
▲ 採算性	▲ 29	▲ 27	▲ 20	▲ 22
× 資金繰り	▲ 15	▲ 17	▲ 7	▲ 20
* 景況感	▲ 15	▲ 25	13	▲ 7

宿泊業DI推移



	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3見込み
● 売上高	▲ 32	0	▲ 25	▲ 6
■ 仕入単価	44	85	69	80
▲ 採算性	▲ 49	▲ 39	▲ 40	▲ 33
× 資金繰り	▲ 37	▲ 31	▲ 41	▲ 32
* 景況感	▲ 44	▲ 38	▲ 44	▲ 25

サービス業DI推移



	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3見込み
● 売上高	▲ 36	▲ 46	▲ 13	▲ 15
■ 仕入単価	7	29	20	40
▲ 採算性	▲ 43	▲ 53	▲ 33	▲ 41
× 資金繰り	▲ 14	▲ 29	▲ 13	▲ 20
* 景況感	▲ 22	▲ 43	▲ 7	▲ 14